

令和3年度(2021年度)公共事業再評価調査

調書番号		所管部		作成責任者		基準年月日								
-		農政部		農政部農村振興局農村整備課長 五十嵐 尚		-								
I 基本事項(基準日時点)				担当係		調整係(内) 27-621								
事業種別	道管農道整備事業費(一般農道(保全対策型))			地区名	トマム	市町村名	陸別町							
事業費	1,092 百万円	負担割合	国 55.0% 道 22.5% 市町村 22.5% その他	600 百万円	246 百万円	246 百万円	百万円							
事業目的・目標	<p>●本路線は、昭和43年(1968年)から平成元年(1989年)にかけて2地区にて整備された道路であり、地域農業生産物、生産資材等の流通並びに陸別町市街地を結ぶ幹線農道であるが、経年変化により路肩の撤掘れ、凍上による横断クラックの発生が見受けられ、車両のすれ違い走行にも支障を来している(単独事故の多発等)</p> <p>●このため、H27年(2015年)より当該計画区間(L=4.97km)の事業に着手。</p> <p>●点検診断を行い適切な整備の実施による安全円滑な交通確保を目指す。</p>			<p>事業概要</p> <p>本路線は、陸別町斗満集落と陸別町市街地を結ぶ幹線農道約5kmの区間について、経年劣化や凍上による撤掘れや横断クラックの整備を行うものである。</p>										
	<p>【アウトカム】等</p> <p>●安全円滑な交通環境の確保を図るとともにライフサイクルコストの低減・施設の長寿命化を図る。</p>			<p>工事費内訳</p> <p>受益面積 418ha 受益戸数 12戸 ○農道修繕 L=5,000m → L=4,969m ○測量設計費 点検診断、調査設計等 ○用地費及び補償費 用地買収、物件補償</p>		(百万円) 前回評価	(百万円) 今回評価							
			計		586	1,092								
総合計画での位置付け	施策名		農業農村整備の推進		総合計画：大項目		経済・産業							
	総合計画：中項目		農林水産業の持続的な成長		総合計画：小項目		潜在力のフル発揮で地域の経済・社会を支える農業・農村づくり							
施策目標		地域の個性や創造力を活かした農業・農村の持続的発展に向けて「いのちの源「食」の生産をささえる」「多様な担い手と地域をささえる」「豊かな農村環境をささえる」の3つを整備の基本方針とし、地域の実情に即した生産基盤等の計画的な整備を進める。		関連する指標		食料自給率(カロリーベース) 令和7年度(2025年度) 目標値：258%								
II 公共事業評価経過														
事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)				
	事前評価又は当初	H28(2016)	H28(2016)	H34(2022)		5	586	132						
	今回評価	H28(2016)	H28(2016)	R3(2021) R5(2023)			1,092	246	206	816	75%			
変更理由・内容		<p>変更①：事業量の変更 事業費の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・測量精査による事業量の減。</li> <li>・工法変更：①既設横断管の再利用が不可となったことによる事業費の増額。</li> <li>②大雨等の影響により、全線にて側溝の整備が必要となったことによる事業費の増額。</li> </ul> <p>変更②：事業費の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工法変更：現地詳細補足調査の結果、修繕工法の変更による増額。</li> </ul> <p>変更③：新型コロナウイルス感染症の影響により用地買収手続きが困難となったことから、事業期間を1年延伸することとなった。</p>												
III 事業採択前の状況														
1. 事業採択に至る経過と背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>● S41年(1966年) 振興山村地域指定</li> <li>● S43年(1968年)～S45年(1970年) 道管農免農道整備事業実施 砂利道整備を実施</li> <li>● S47年(1972年) 農振地域指定</li> <li>● S50年(1975年)～S54年(1979年) 道管一般農道整備事業(基幹舗装)トマム地区実施 舗装整備を実施</li> <li>● S56年(1981年)～H元年(1989年) 道管一般農道整備事業(基幹舗装)トマム2期地区実施 舗装整備を実施</li> <li>● H 5年(1993年) 特定農山村指定</li> <li>● H12年(2000年) 過疎地域指定</li> </ul>													
2. 事業検討の手續(住民への把握等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● H25年(2013年) 陸別町より道に農道改修の要望</li> <li>● H28年(2016年) 本道路の改修事業に着手</li> </ul>													
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 足寄郡陸別町 受益面積418ha、受益戸数12戸</li> </ul>													
4. 関連する事業	事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容									
IV 事業の実施状況														
1. 進捗状況	(1) 事業実績及び今後の計画 (進捗状況は令和4年度末時点の見込み)													
	施工(工種)区分	工事内容	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	進捗状況	事業費(百万円)	
	測量設計	点検診断		←1或→									100%	15
	農道修繕	L=4,969m					←L=3,592m	→	L=340m	→	L=1,037m		82%	937
	測量設計費	調査・設計								←再設計			100%	97
	用地費及び補償費	用地買収・物件補償									←物件補償	物件補償	88%	43
	計												1,092	
	(2) 進捗状況													
	<p>農道修繕工について、3,592m分の整備が完了。</p> <p>一部、令和3年度中に、新型コロナウイルス感染症の影響により用地買収手続きが困難な事案が発生したため、事業期間の延伸を余儀なくされたこととなったが、事業はおおむね予定どおり進捗しており、今後の実施に当たっても特に支障となるものはない。</p>													
	b	<p>a：概ね予定どおり実施している。</p> <p>b：事業計画・期間等を変更し実施する。</p> <p>c：問題が生じ、実施に支障をきたしている。</p>												

	経済効果の内訳（百万円）		費用の内訳（百万円）		B/C	備 考
	項 目	R3現在	項 目	R3現在	R3現在	
2. 事業効果	維持管理費節減効果	△ 18	農道	1,772	2.01	<ul style="list-style-type: none"> <li>「土地改良事業の費用対効果分析マニュアル」（農林水産省H30改正）に基づき算出</li> <li>経済効果の合計と費用の合計は、「工期+40年」の累計で算出しR1年度に現在価値化している。</li> <li>費用の合計は現在価値化しているため事業費と異なる。</li> <li>維持管理費節減効果は、現施設の維持管理費に対して、再整備した場合の維持管理費の増減及び事業を実施せず現施設がなくなった場合の維持管理費の増減の合計により、マイナスとなる。</li> <li>算定年度はR1年度（2019年度）</li> </ul>
	営農に係る走行経費節減効果	3,488				
	一般交通等経費節減効果	107				
	合計（B）	3,577	合計（C）	1,772		
	前回算定年度：H28年度（2016年度）【第1回計画変更】 前回算定時B/C：2.40 変更理由：					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業費の増額に伴う費用の増加</li> <li>諸係数・単価等の時点修正による効果額の変更</li> </ul>					

3. コスト縮減などの取組	取組の項目	取組の内容	縮減額（百万円）
	-	-	-

### V 評 価

1. 必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本事業は、経年劣化による舗装クラックやわだち掘れ等による路面の状況悪化及び路肩の脆弱化による通行車両の走行性・安全性へ支障を解消し、大型化した集乳車や飼料作物運搬車両の効率的かつ安全な運搬環境を確保するためのもの。</li> <li>●環境配慮対策は、陸別町田園環境整備マスタープランの対応方針に準じている。</li> <li>●環境報協議会はH28に開催済み：環境配慮対策については説明し、了解が得られている。</li> </ul>			
	a	a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。		
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題 ●降雨時の工事は実施しないなど、汚濁水の流出が最小限になるように実施する。 ●環境配慮対策は、陸別町田園環境整備マスタープランの対応方針に準じている。 ●環境報協議会はH28に開催済み：環境配慮対策については説明し、了解が得られている。			
	(2) 事業推進に対する住民の動向 ●大型車両の路肩脱輪や路外転落事故の発生など、地域住民からは早期の整備が望まれている。			
	(3) その他の課題 ●特になし			
3. 事業達成の見込み	今後の事業実施に当たって特に大きな支障や課題はないが、予定年度での完了に向けて今後は要望どおりの予算を配当する必要がある。			
	a	a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b：課題はあるものの達成は可能である。 c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。		
4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和5年度（2023年度）の完成を目指して事業を継続する。			
	a	a：継続 b：終了 c：休止 d：中止		
	事業期間変更の有無	有	事業費変更の有無	有
			事業内容変更の有無	無
			目的・規模等に係る変更	無
			左記以外の変更	有

### VI 備 考

1. 評価履歴	事前評価：該当なし 再評価：該当なし
2. その他の取組事項	

### 補足資料

VII 事業計画変更						経年経過回数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
再評価	事業採択	着手	変更年度	完了予定								
事前評価又は当初	H28 (2016)	H28 (2016)		H34 (2022)			586	132				
変更① 1回目	H28 (2016)	H28 (2016)	H28 (2016)	H34 (2022)			716	162				
変更② 2回目	H28 (2016)	H28 (2016)	R1 (2019)	R4 (2022)			1,077	243				
変更③			R3 (2021)	R5 (2023)			1,092	246	206	816	75%	
変更④												
変更⑤												
変更⑥												
変更⑦												
変更⑧												
変更⑨												
変更⑩						5						
変更理由・内容	変更①：事業量の変更 ・測量精査による事業量の減。 事業費の変更 ・工法変更：①既設横断管の再利用が不可となったことによる事業費の増額。 ②大雨等の影響により、全線にて側溝の整備が必要となったことによる事業費の増額。 変更②：事業費の変更 ・工法変更：現地詳細補足調査の結果、修繕工法の変更による増額。 変更③：新型コロナウイルス感染症の影響により用地買収手続きが困難となったことから、事業期間を1年延伸することとなった。											

